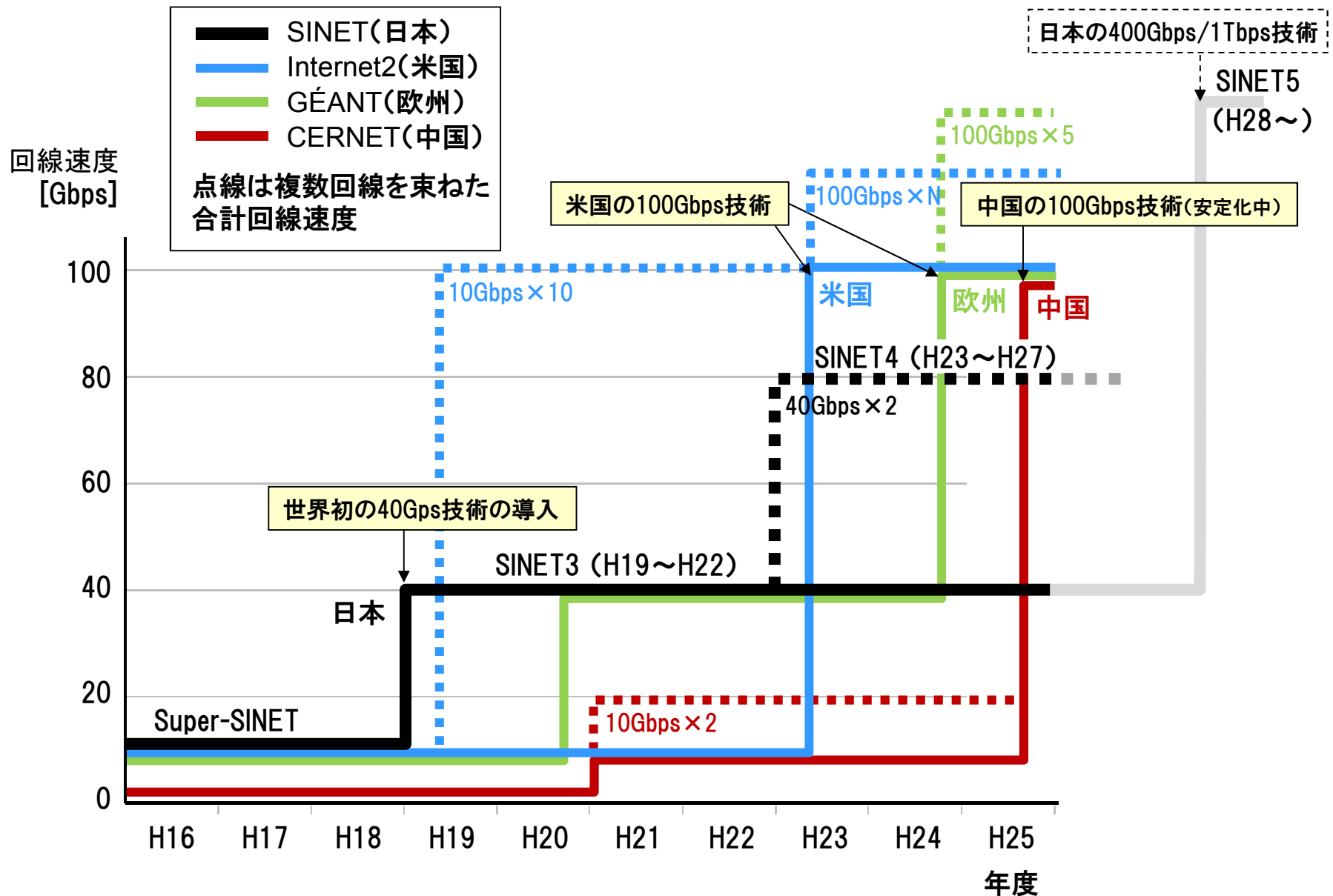


3. ロードマップ

3-1. 研究ネットワークにおける回線速度の比較



3-2. ロードマップ(案)

◆以下にロードマップ案を示す

平成27年度には**SINET5**(通信回線)の構築のための**移行経費**が別途必要

平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
SINET4				★SINET6 コンセプト提案		
SINET5						
▲構築・移行	▲運用開始 ・全県 100Gbps 化(沖縄除く) ・一部バックボーン 100Gbps ×4化 ・米国回線 100Gbps 化 ・欧州回線直接接続		▲沖縄100Gbps化 ▲400Gbps/1Tbpsの導入			
	▲SDNサービス開始 ▲NFV技術によるクラウド化開始 ▲NIIサービスのクラウド化開始 ▲Cloud Gateway試行開始		▲欧州回線100Gbps化 ▲SDNサービスの高度化			
▲JAIRO Cloud増強 ▲多様なリポジトリの構築を推進		▲CiNiiの高度化				

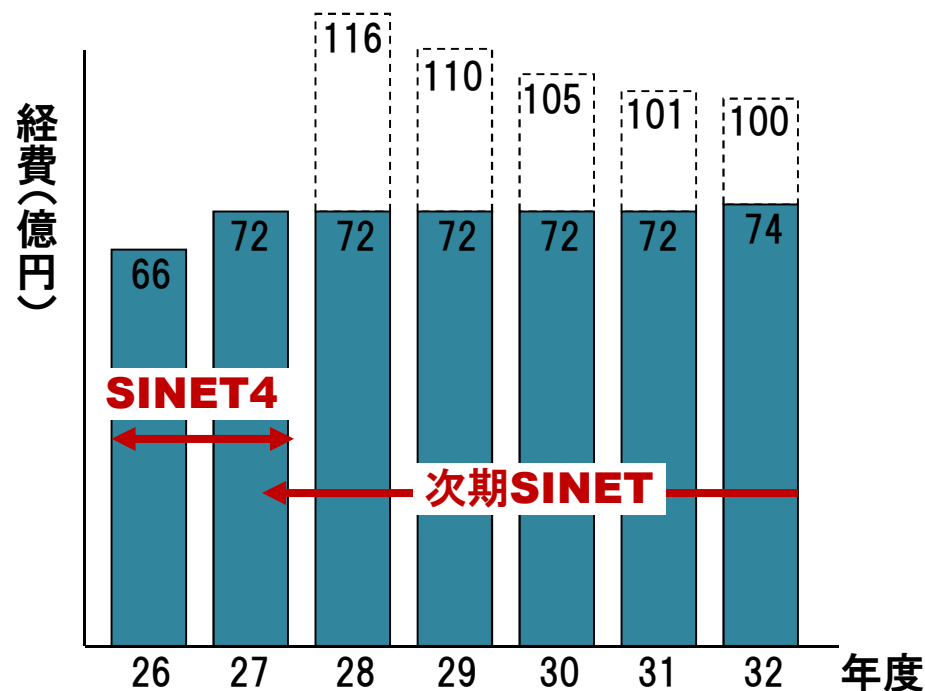
(現時点での案)

3-3. 学術大型研究計画としての位置づけ

SINETは様々な研究分野の大型研究プロジェクトに活用されており、**SINET**そのものの研究開発も学術的価値を有することから、学術大型研究計画としての位置づけを検討

- 次期SINETでは国内回線のみならず国際回線を大幅に増強する計画
- ネットワークセキュリティの高度化とクラウド化への対応
- 平成27年度は移行経費を含む

経費シミュレーション



実施体制

● 学術情報ネットワーク運営・連携本部

以下の機関から組織される。

北海道大学、山形大学、東北大学、筑波大学、千葉大学、東京大学、東京工業大学、静岡大学、金沢大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、岡山大学、広島大学、九州大学、早稲田大学、高エネルギー加速器研究機構、国立天文台、分子科学研究所、核融合科学研究所

まとめ

◆ 従来の事業の強化

- 回線の増強(全県**100Gbps**化、国際回線の大幅増強)
- 認証機構の標準「学認」のさらなる展開
- 学術情報の共有と流通の促進(**JAIRO cloud**の拡充、**CiNii**の高度化)

◆ 新たな取り組み

- ネットワークセキュリティの高度化(**Firewall**等の**SINET**上での提供)
- クラウド化(**NIIクラウド サービス**、**Cloud Gateway**機能の実現)